



# Indonesia Weekly

2026年2月2日 (対象期間 : 2026/1/26~2026/1/30)

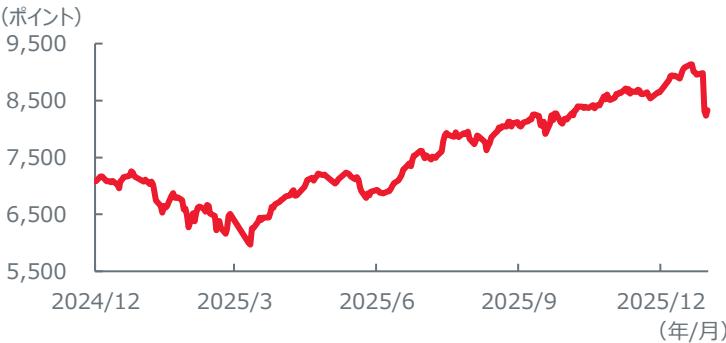
## [マーケット振り返り]

株式市場は、1月27日に大手指数算出会社MSCIがインドネシア株式市場の情報開示に懸念を表明したことを嫌気し、幅広い銘柄が売られ28日に急落しました。その後、インドネシア当局が対策を講じたことから30日には反発しましたが、前週末比で大幅に下落しました。

債券市場では、インドネシア国債利回りは週初から低下（価格は上昇）基調となり、29日までほぼ横ばいで推移しました。30日には、低下した米国債利回りとの連動に加え、インドネシア中央銀行（BI）が市場金利の誘導を目的として行う短期ルピア建て証券（SRBI）の入札で平均落札利回りが低下したことなどが背景となり、インドネシア10年国債利回りは前週末比で低下しました。

為替市場では、28日の株式市場の大幅な下落を受けてルピアも一時下落しましたが、週初からの米ドル安を背景に、前週末比でルピアは対米ドルで上昇し、対円では下落しました。

## [株式市場] ジャカルタ総合指数の推移 (2024年12月30日～2026年1月30日)

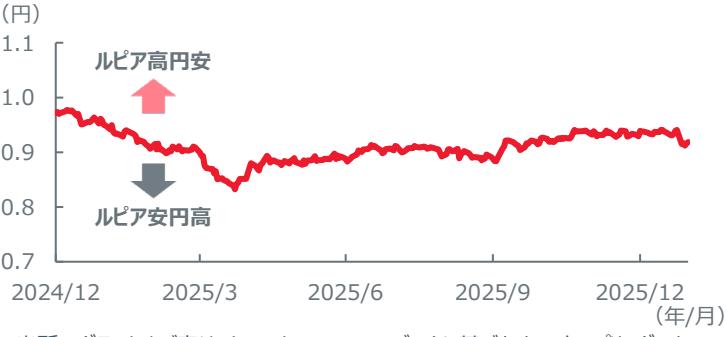


## [債券市場] インドネシア自国通貨建て10年国債利回りの推移 (2024年12月31日～2026年1月30日)



## [為替市場] インドネシアルピアの対円レート\*の推移 (2024年12月31日～2026年1月30日)

\*100インドネシアルピアの対円レート



出所：グラフおよび表はBloomberg L.P.のデータに基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

<当資料に関してご留意いただきたい事項> ※当資料は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社が、情報提供を目的として作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、特定の金融商品の勧説・販売等を目的とした販売用資料ではありません。※当資料は、信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしもその正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料の内容は作成日時点のものであり、当社の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがあります、将来予告なく変更されることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。※当資料で使用しているグラフ、パフォーマンス等は参考データをご提供する目的で作成したものです。数値等の内容は過去の実績や将来の予測を示したものであり、将来の運用成果を保証するものではありません。※当社による事前の書面による同意無く、当資料の全部またはその一部を複製・転用並びに配布することはご遠慮ください。

### イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商） 第379号／加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会

英国ブルーデンシャー社は、イーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャー・ファイナンシャル・ホールディングス社、および英国のM&G社の子会社であるブルーデンシャー・アシュアラントス社とは関係ありません。